

令和5年度 大阪市城東区社会福祉協議会 事業報告

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会活動が再開された1年だった。地域福祉活動では、一度途切れた人と人とがふれあい・交流する活動の再開を支援するなど、区社協の各種事業を実施した。

重点目標1つ目の『つながり・交流・相談する「場」づくりの推進』では、当事者会支援（発達障がいを考える会、不登校・ひきこもり親の会、介護者家族の会）、認知症キッズサポーター養成講座、介護予防や認知症理解の普及などを目的とした「ゆうゆうはつらつ教室」のほか、高齢男性の地域活動参加を支援する各種講座を開催した。また、家庭で余っている食料や企業での呼び掛けから集まった食料品を寄贈してもらい必要な区民へ提供するフードドライブ事業では、区社協内のプロジェクトチーム（PT）により、食料品の有効活用と生活困窮者支援へとつなげるべくフードパントリー事業を実施した。

重点目標2つ目の『ICTを活用した事業の推進』では、スマホサポーター養成講座の開催や、スマホサポーターの補助による「ゆうゆうスマホ相談会」の定例実施や、見やすく利用しやすい区社協のホームページ再検討にも着手した。

重点目標3つ目の『住民や地域と専門職が連携した見守りや生活支援の推進』では、地域ケア会議やネットワーク構築のための会議開催のほか、地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業における見守りメール協力者連絡会の開催、地域包括支援センター等では、人生会議（意思決定支援）講演会、認知症フェスタや認知症啓発映画会の開催など、多くの区民や専門職・機関が参画して行われた。また、生活福祉資金貸付窓口対応では、コロナ特例貸付償還猶予のフォローアップ支援に取り組み、生活福祉資金担当や生活困窮者自立相談支援担当（ウイズゆうゆう）が中心となり、生活課題のある住民への支援に取り組んだ。

最後の重点目標『ボランティア・市民活動、福祉教育、防災研修の推進』では、ボランティア・市民活動センター運営委員会の定例開催のほか、ボランティア連絡会、ボランティア養成講座、ボランティア広場2023など、多くのボランティア同士の交流や区民へのボランティア活動の啓発につなげることができた。福祉教育では小中学校からの相談や依頼が増えた。防災関連では、区社協内の防災検討委員会の定例開催で、要綱やマニュアルの検討のほか、災害ボランティア運営サポーター養成講座や職員向け研修の開催、令和6年1月に発生した能登半島地震に対し石川県志賀町に職員1名を派遣した。

さいごに、城東区社協内の各部門・各事業が持つ機能、『個別支援機能』と『地域支援機能』を連携させ、より効果的に事業実施するため、部門間の協同実施やプロジェクトチーム形式を多く採用し、地域福祉の推進に取り組んだ。

1 管理運営部門

(1) 会議

①理事会

開催日	場所
令和 5年 5月30日 (火)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 5年 6月23日 (金)	
令和 6年 3月 8日 (金)	

②評議員会

開催日	場所
令和 5年 6月14日 (水)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 6年 3月26日 (火)	

③役員会

開催日	場所
令和 5年 5月30日 (火)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 5年 6月23日 (金)	
令和 6年 3月 8日 (金)	

④校下社会福祉協議会会長会

開催日	場所
令和 5年 6月22日 (木)	城東区役所 301
令和 5年 9月21日 (木)	
令和 5年12月21日 (木)	
令和 6年 2月22日 (木)	

(2) 会員制度

- ①組織構成会員 18団体
- ②住民会員・賛助会員 1,066人

(3) 規程・規則等の制定・改正

特になし

(4) 共同募金運動への協力

校下社協等が窓口となり、毎年10月から12月末の期間に戸別募金・街頭募金・バッチ募金をはじめ、区内の企業や小・中・高等学校で行う募金などさまざまな形で取り組まれた。令和5年度は、新たに大阪信愛学院高等学校2年生による街頭募金運動も実施された。集められた寄付金は、福祉施設に配分されるほか、区社協を通じて区内の団体や校下社協へ地域福祉の推進を目的とした事業や行事等に活用した。

令和5年度募金実績額	金11,201,595円
------------	--------------

(5) 硬貨募金運動

この運動は昭和41年に1円玉募金として始まり、昭和51年に名称を硬貨募金運動に変更した。令和5年度で58回目を迎え今もなお開始当時の精神は受け継がれている。校下社協が窓口となり、地域振興会・女性会の協力のもと行われており、寄付金は高齢者・障がい者・青少年福祉事業に活用した。

令和5年度実績額	金6,499,079円
----------	-------------

(6) 善意銀行

① 預託及び払出

預託件数		預託金額 (内容)
金銭預託	13件	1,122,409円

払出内容	払出先
高齢者月間・敬老の日記念行事 (1,700,000円)	80歳以上高齢者、金婚夫婦世帯等 お祝品
高齢者月間・敬老の日記念行事 (1,000,000円)	各校下社会福祉協議会
ボランティア応援資金 (610,000円)	各ボランティアグループ16団体
福祉活動助成金等 (350,000円)	各種団体4団体
地域支援事業助成金 (400,000円)	地域2団体
一般払出 (0円)	0件
緊急食料品等給付 (6,434円)	給付2件

②善意銀行運営委員会の開催

開催日	場 所
令和 5年 6月 3日(金)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 5年 9月 7日(木)	
令和 6年 1月15日(月)	

2 地域支援部門

(1) 地域福祉活動推進事業

新型コロナウイルス流行後も地域のつながりを絶やさず、住民が生きがいをもって安心して生活ができるよう、住民のニーズに適切なサービスを結び付けていく支援活動や、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動の推進体制を整備する活動など地域福祉の推進を行った。

①校下社会福祉協議会

16校下社協において各地区の特性を活かし、様々な福祉活動が展開されているが、各福祉活動における助言や後方支援、アクションプラン等の検討会議等へ参画した。

②地域支援調整チーム実務者会議「高齢者支援専門部会」の運営

区内の高齢者の実態把握、課題集約を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として、講演会等を開催した。

開催日	内 容
令和 5年 8月 3日(木)	講演会「高齢者虐待の兆候と早期対応」
令和 5年 9月22日(金)	映画上映会「ぼけますから、よろしくお願いします」
令和 5年11月16日(金)	認知症フェスタ(ケアフォーラム)
令和 6年 1月26日(金)	障がい者・高齢者虐待防止連絡会議
令和 6年 2月27日(火)	研修会「高齢者の精神疾患の対応」
令和 6年 3月22日(金)	研修会「リハビリ職が行う認知症支援について」

③地域支援調整チーム実務者会議「障がい者支援専門部会(地域自立支援協議会)」への参画

区内の障がい者の実態把握、課題集約を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として開催されている部会に参画した。

地域自立支援協議会全体会

開催日	場所
令和 5年 6月22日 (木)	城東区民センター ホール
令和 5年 9月 7日 (木)	
令和 5年12月14日 (木)	
令和 6年 3月14日 (木)	

④地域支援調整チーム実務者会議「子ども支援専門部会(子育て支援連絡会)」への参画

区内の子育て支援の実態把握、課題集約を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として開催されている部会に参画した。

開催日	場所
令和 5年 4月25日 (火)	城東区役所
令和 5年 6月27日 (火)	
令和 5年 8月29日 (火)	
令和 5年10月24日 (火)	
令和 5年12月12日 (火)	
令和 6年 2月13日 (火)	

(2) ソーシャルインクルージョン推進事業

「社会的弱者を社会から排除するのではなく、地域社会の中でともに助け合っ
て生きていく」というソーシャルインクルージョンの考え方のもと、全ての住民
が住み慣れた地域で、自分らしく、安心して暮らせる地域づくりのために、地域
の団体や企業、施設、学校等と連携を図り、平常時よりつながりを深めながら災
害時に備えるとともに、地域の実情に応じた課題を解決できる地域福祉システム
の構築をめざすことを目的に、災害時要援護者支援事業、地域の特色ある福祉の
取組支援事業、新たな地域福祉活動支援事業を実施した。

①地域福祉支援員連絡会の開催

開催日	内容
令和 5年 4月12日 (水)	福祉教材を使用した高齢者疑似体験会
令和 5年 5月10日 (水)	ボッチャ審判員養成講座
令和 5年 6月14日 (水)	『新しいユニバーサルスポーツ モルック体験会』
令和 5年 7月12日 (水)	『津波・高潮ステーション』施設見学
令和 5年 8月 9日 (水)	防災学習プログラム『OSAKA 防災タイムアタック』 を使用した防災学習
令和 5年 9月22日 (金)	認知症をはじめ全ての人の意思決定支援を考える 『講演会&映画上映会』への参加

令和 5年10月20日(金)	『ピアフェスタ2023 ボッチャ大会』への協力
令和 5年11月 8日(水)	『～災害時における社協の役割について～ 災害ボランティアセンターの設置・運営について』
令和 5年12月13日(水)	『ほったらかし不動産について』、 『区社協 終活相談事業について』
令和 6年 1月13日(水)	『ユニバーサルスポーツ ラダーボール体験会』
令和 6年 2月 8日(水)	『発達障がいの理解と支援』
令和 6年 3月13日(水)	令和5年度 活動の振り返り

②その他関連業務の実施

- ・地域福祉支援員活動への助言、活動支援評価、指導等
- ・地域福祉支援員活動事務用品の調達支援
- ・地域福祉支援員活動日報・月報・年間活動報告等のとりまとめ
- ・地域福祉支援員への報酬の支出、および支出にかかる税務処理等庶務業務
- ・地域福祉活動支援コーディネーター関係業務
(森之宮地域におけるスマートエイジング・シティの理念をふまえたまちづくり支援等)

(3) 高齢者福祉月間運動の推進

校下社会福祉協議会等の協力を得て、80歳以上の方11,786人、金婚夫婦世帯310組に、毎年9月の高齢者福祉月間にあわせて祝い品を贈呈した。

(4) 福祉教育の推進

小・中学校、地域団体、ボランティアグループ等に福祉教育として、車椅子・アイマスクを使用しての実技やゲストティーチャーによる講義を行った。令和4年度は、主に小学校や中学校に協力し、指導を行った。

開催日	学校・団体等	実人数
令和5年12月 5日(火)	関目小学校3年生	83人
令和6年 3月14日(木)	城東中学校1年生	200人

(5) 子育て支援

子育ての不安感の軽減を図ることを目的に、「わくわくする子育て」「子育ては楽しい」をコンセプトとして区内の関係機関などと共催で「わくわく子育てフェスティバル」に参画。

また、子育て中の方を対象にヨガやカフェを通して育児疲れの緩和を行うとともに、子育てにおける困りごとなどを当事者同士で情報交換・支えあいの場となる「親子カフェ」を開催。

①「わくわく子育てフェスティバル」

開催日	場所
令和 5年10月14日(土)	城東区民センター ホール

②「親子カフェ」

開催日	場所
令和 5年 5月24日(水)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 5年 6月28日(水)	
令和 5年 7月26日(水)	
令和 5年 9月27日(水)	
令和 5年10月25日(水)	
令和 5年11月22日(水)	
令和 6年 1月24日(水)	
令和 6年 2月28日(水)	

(6) 当事者支援事業

発達障がい、不登校・ひきこもりなどの当事者、家族、支援者などが集まり、悩みや不安感の軽減を図ることを目的に、集いの機会を設けた。

① 発達障がいを考える会（カラフル） 開催場所：区在宅サービスセンターゆうゆう

開催日	参加者数
令和 5年 4月15日(土)	8人
令和 5年 5月20日(土)	14人
令和 5年 6月17日(土)	12人
令和 5年 7月15日(土)	21人
令和 5年 8月19日(土)	14人
令和 5年 9月16日(土)	17人
令和 5年10月21日(土)	16人
令和 5年11月18日(土)	15人
令和 5年12月16日(土)	12人
令和 6年 1月20日(土)	15人
令和 6年 2月17日(土)	18人

令和 6年 3月16日(土)	11人
----------------	-----

② 不登校・ひきこもり親の会(ほっとタイム)開催場所:区在宅サービスセンターゆうゆう

令和 5年 4月15日(土)	7人
令和 5年 5月20日(土)	10人
令和 5年 6月17日(土)	6人
令和 5年 7月15日(土)	5人
令和 5年 8月19日(土)	3人
令和 5年 9月16日(土)	9人
令和 5年10月21日(土)	11人
令和 5年11月18日(土)	7人
令和 5年12月16日(土)	8人
令和 6年 1月20日(土)	7人
令和 6年 2月17日(土)	3人
令和 6年 3月16日(土)	9人

(7) 認知症サポーター養成講座

認知症を理解し、認知症の本人やその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつかっていくために、地域の方々や小学生を対象に「認知症サポーター養成講座」「認知症キッズサポーター養成講座」を開催した。また講師役となるキャラバン・メイトの情報交換の場として「キャラバンメイト連絡会」を運営し、地域における「認知症サポーター養成講座」の推進役を担っている。

	開催日	対象者	参加者数
1	令和 5年 4月28日(金)	ニコサービス職員及び利用者	17人
2	令和 5年 5月22日(月)	フレンドマート深江橋店等従業員	78人
3	令和 5年 5月29日(月)	フレンドマート深江橋店等従業員	77人
4	令和 5年 7月22日(土)	鯉江東連合第1・2町会	27人
5	令和 5年 9月26日(火)	菟小学校2年生	66人
6	令和 5年10月24日(火)	一般区民向け講座(2部制)	35人
7	令和 5年12月 5日(火)	オレンジサロンもりまち利用者等	16人
8	令和 6年 2月 9日(金)	一般区民向け講座(2部制)	39人

9	令和 6年 2月20日(火)	鯉江東小学校4年生	78人
10	令和 6年 2月29日(木)	城東ちどり保育園5才児クラス	43人
11	令和 6年 2月29日(木)	地域住民(董地域)	14人
12	令和 6年 3月 7日(木)	見守り相談室機能3協力者	27人
		合計 12回	517人

(8) 車椅子貸し出し事業

通院など急に車椅子が必要な場合や、一時的な使用に区民に貸し出しを行った。貸し出し期間は、1ヶ月以内。

団 体		個 人
1団体	5台	貸出回数 267回

(9) ボランティア・市民活動センター事業

①登録者数(令和6年3月31日現在)

個 人	グループ	
176人	36グループ	341人

②ボランティア(個人・グループ)連絡会

	事 業 名 称	備考(内容等)
1	令和5年6月15日(木)	ボランティア連絡会 センターよりボランティア広場の説明、 ボランティア活動の情報交換

③ボランティア養成事業

	事 業 名 称	備考(内容・延べ参加人数等)
1	おもちゃドクター養成講座(全2回)	令和5年6月10日(土)、17日(土) ・おもちゃ修理の基本 ・おもちゃドクター活動見学
2	スマホサポーター養成講座(全3回) ※生活支援体制整備事業と共催	令和5年8月9日(水)、17日(木)、23日(水) ・基本操作とサポーターとしての心構え ・インターネットの活用方法を考えよう ・LINEでのコミュニケーション方法を伝えよう
3	傾聴ボランティア養成講座(全5回)	令和5年10月25日(水)、11月1日(水)、8日(水)、22日(水)、29日(水) ・「傾聴」とは ・グループで対話や聴き方の技法を学ぶ ・人間関係のために(ロールプレイング)等

4	子育て支援ボランティア講座 全8回(東成区4回、 城東区4回)	令和5年10月26日(木)、11月2日(木)、9日(木)、16日(木)、30日(木)、12月7日(木)、14日(木)、21日(木) (ファミリー・サポート・センター事業提供会員講座を兼ねる) ・乳幼児期の心とからだ ・子どもの栄養と食事 ・障がいのある子どもとの関わり ・乳幼児期の絵本の役割等
---	---------------------------------------	--

④活動支援事業

	事業名	内容
1	傾聴ボランティアグループ「ゆずは」	定例会への参加、広報周知 活動先の受給調整等
2	ゆうとゆう会	定例会への参加、カフェなごみ運営支援等
3	城東まつり	ボランティア協力のもと、ブースでの出店
4	ゆう和会	定例会への参加
5	任意団体 君彩	ダブルケアに関する活動の周知、広報協力
6	ボランティア広場	スギタクレストホールにて、登録ボランティアがパフォーマンスや作品展示をする機会を設ける

⑤ボランティア・市民活動センター運営委員会

ボランティア・市民活動センターでは、センターの機能強化、また、従来の活動者以外の層の人達の参画やNPOなど多分野の団体と連携して、地域のニーズに合った新たな取り組みや仕組みを構築していくため、委員会を開催した。

令和5年 6月20日(水)	令和4年度活動報告、令和5年度事業計画の共有
令和5年10月25日(水)	活動報告、城東まつり出店についての検討

参加メンバー：NPO代表、ボランティアグループ代表、学識経験者等

(10) フードドライブ・フードパントリー事業

令和3年度から家庭で余っている食料や企業での呼び掛けから集まった食料品を寄贈頂く、フードドライブ事業を開始。令和5年度からは、食料品の有効活用と生活困窮者支援へとつながるべくフードパントリー事業を開始した。

第1回	令和5年 8月10日(木)	参加世帯数 31世帯
第2回	令和5年10月31日(火)	参加世帯数 34世帯

第3回	令和6年 3月13日(水)	参加世帯数 27世帯
-----	---------------	------------

(11) 防災関連の取組み

大規模災害時に設置運営する、災害ボランティアセンターをはじめ、災害対策全般の備え、職員の防災意識向上の為、様々な取組みを行った。

①区社協防災対策委員会の開催(偶数月毎)

防災対策全般における懸案事項の検討、災害ボランティアセンター班、BCP班、総務班で構成される、各班の活動の進捗確認などを実施。

②区役所防災担当との定例会議の開催(奇数月毎)

区社協・区役所双方の防災の取組みについての情報共有や災害ボランティアセンター設置における懸案事項の検討などを実施。

③防災意識向上の為の職員研修の実施

- ・新規採用者向け職員研修の実施

令和5年4月13日(木)・11月9日(木)

- ・職員防災研修「防災対策委員会の取組み報告と備蓄品の組立て」

令和6年1月25日(木)・26日(金)・30日(火) 全職員参加

④災害ボランティア運営サポーター養成講座の実施

令和6年3月2日(土)・9日(土) 受講者数17名

⑤能登半島地震における支援

- ・職員による被災地支援 職員1名

令和6年1月28日(日)～2月3日(土)

- ・復興支援募金活動の実施

(12) 生活支援体制整備事業

地域活動での男性参加率の低さが区内全域で課題となっている中、昨年度に引き続き男性高齢者を対象とした講座を開催し、地域活動参加の動機付けを行った。今年度は男性が地域活動の参加者としてだけでなく、役割をもち地域に関わっていただけるような内容で実施したことで、地域活動者とのマッチングをスムーズに行うことができた。

また、地域活動の情報を集約した「いくつになっても元気にいこかマップ(城東区居場所マップ)」を発行した。

①地域資源の創出

- ・新規立ち上げ 12件
- ・既存資源の拡充 1件
- ・既存資源の継続支援 14件

②第1層協議体の開催

開催日	場所
令和6年 3月 5日 (火)	区在宅サービスセンター ゆうゆう

③第2層協議体の開催

開催日	場所
令和5年10月26日 (木)	城東スギタクレストホール

今年度は全圏域合同で開催し、区内全体で地域活動の情報共有や意見交換ができる場を創出した。

④担い手養成講座・ワークショップ等の開催

	事業名称	備考 (内容・延べ参加人数等)
1	スマホサポーター 養成講座 ※ボランティア・市民活動センターと共催	令和5年8月9日(水)、17日(木)、23日(水) ・スマートフォンの基本操作やインターネット使用時の注意点、LINEの機能について等 参加人数延べ 16人
2	男の体操教室	令和5年6月7日(水) 区内在住の概ね65歳以上の男性を対象とした、柔軟や体幹トレーニング等の体操指導 参加人数延べ13人
3	男の写真教室	令和5年6月21日 (水) 区内在中の概ね65歳以上の男性を対象とした、スマホでの写真の撮り方をボランティアが指導 参加人数延べ 7人
4	男のコーヒー教室	令和5年2月9日 (金)、14日(水) 区内在中の概ね65歳以上の男性を対象とした、スターバックスコーヒーによる、コーヒーの淹れ方指導 参加人数延べ 12人
5	健康麻雀体験講座	令和5年6月6日 (火)、20日(火) 城陽包括圏域内在住の概ね65歳以上の方を対象とした、健康麻雀の会定期開催に向けた講師調整 参加人数延べ15人

(13) 介護予防教室事業

65歳以上の介護保険の第一号被保険者及びその支援に関わる方、閉じこもりがちな高齢者の介護予防に資する通いの場を確保し健康運動指導士や管理栄養士、歯科衛生士などの専門家の指導を受け介護教室予防事業を行った。

介護予防教室事業の内容及び参加者延べ人数

開催箇所	開催回数	利用人数
31カ所	全339回	3,326人

(14) 子育て活動支援事業他2事業（城東区子ども・子育てプラザ）

①子育て活動支援事業

次代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるために支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちがつどい交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図った。また、城東区独自の「子育て支援連絡会」「わくわく子育てフェスティバル」へ参画・協力し、子どもの育成を図り、プラザについて周知した。「絵本で子育て・みんなで子育て推進事業」のイベントとして「城東区絵本読み聞かせ月間」を実施した。また、子育てサロンへ訪問し、出前講座に取り組む等、各地域に応じた必要な支援を行った。

子育て中の親子の支援	5,942人
児童の健全育成	3,355人
地域関連事業	1,044人
自主的な子育て活動支援	1,625人
その他（一般利用・区事業）	1,962人
計	13,928人

利用登録者数

小学1～3年生	小学4～6年生	中高生	総計
133人	170人	140人	443人

②地域子育て支援拠点事業（つどい）

乳幼児期の子どもを持つ親と子どもが気軽につどい交流する場所の提供や育児相談の機会を提供することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育て家庭の親とその子どもの健やかな育ちを支援した。

交流の場の提供と促進	6, 484人
子育て支援講座	419人(再掲)
ブックスタート事業	177人(再掲)
計	7080人

利用登録者

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	保護者	計
297人	245人	152人	119人	146人	960人	1919人

③ファミリー・サポート・センター事業

子どもの一時的な預かり・幼稚園や保育園等への送迎等、突発的な子育て支援のニーズに応えるために、子育ての援助を行いたい人(提供会員)と援助を受けたい人(依頼会員)の相互援助活動を実施するための調整業務を行った。

会員登録数

依頼会員	254人
提供会員	59人
両方会員	10人
計	323人
総ペア数	254組
年間活動件数	1,404件
子育て活動支援事業 (3事業)利用総数	21,880人

全会員向け交流会・学習会の実施

交流会	28人
学習会	18人
計	46人

提供会員養成講座の実施

子育て支援ボランティア養成講座兼提供会員養成講座 全8回(各区4回ずつ実施) ※城東区ボラティアセンター・東成区ボラティアセンター・プラザと共催	令和5年10月26日(木)、11月2日(木)、9日(木)、16日(木)、30日(木)、12月7日(木)、14日(木)、21日(木) ・活動中のこどもの安全(ヒヤリハット) ・障がいのある子どもとの理解 ・子どもの栄養と食生活 ・児童虐待と社会的養護 他
計	18人

(15) 社会福祉施設連絡会の開催

4月12日	役員会
5月10日	役員会
6月13日	第1部 総会 ・令和4年度活動報告(案)並びに収支報告(案)について ・令和5年度活動計画(案)並びに収支予算(案)について 第2部 講演会 「城東区の防犯等の状況について」 講師：城東警察署生活安全課防犯係 谷川氏 「城東区の消防・救急等の状況について」 講師：城東消防署地域担当 村井氏 出席者32名
7月12日	役員会
9月27日	役員会
11月8日	役員会
11月25日	城東区健康まつり 参加 施設連絡会PRとパンの販売
12月15日	施設見学会開催 すみれ保育園・城東老人ホーム・すみれ病院の3施設を見学 参加者25名
1月17日	役員会
2月1日	研修会 「Dr. comingについて」 講師：Dr. coming 代表 富田雄大医師 参加者29名
3月13日	役員会

(16) 実習生の受入れ

社会福祉に携わる人材の育成はもとより、区社協業務の啓発も兼ねるため、実習を希望する団体の受入れを行った。

期 間	学 校 名 等	実 人 数
令和5年10月2日(月) ～11月11日(土)	龍谷大学	23日間(半日実習有) 1人
令和6年2月7日(水) ～3月15日(金)	大阪保健福祉 専門学校	24日間(半日実習有) 1人

(17) 広報・情報活動の促進

①広報紙「城東区社協情報 ゆうゆう」の発行

区社協の情報を広く区民に周知するため、全戸配布（ポスティング）にて4回発行した。

発行日	部数	配布先
令和5年 4月 1日 (100号)	各94,000部	全戸配布 (ポスティング)
令和5年 7月 1日 (101号)		
令和5年10月 1日 (102号)		
令和6年 1月 1日 (103号)		

②ホームページの充実

区社協の情報やお知らせ等をホームページでタイムリーに周知した。

ホームページアドレス <https://www.jyotan-sky.org>

③フェイスブックの充実

区社協およびボランティア・市民活動センターのフェイスブックにて、区内の地域福祉活動紹介やイベント案内等の情報周知に努めた。

④YouTubeチャンネルの運営

区社協の取組みを中心に区民の生活に役立つ情報を発信することを目的に運営し、情報周知に努めた。

3 生活支援部門

(1)地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

「要援護者の把握」「要援護者世帯の孤立化防止」「地域の支えあいの推進」を目的に平成27年度から本事業を推進してきた。

具体的には下記の取り組み、地域における平時の見守り活動や災害時の避難体制を強化するため、要援護者を支援するネットワーク構築に向けて実施した。

◇機能① 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

- ・行政と地域が保有する要援護者情報を集約
- ・要援護者名簿への記載にかかる同意確認
- ・要援護者名簿を活用した地域での見守り活動の推進

ア) 郵送による同意確認

新規対象者	再発送数	回答数	同意件数	不同意件数
1,658人	98件	1,116件	817件	299件

イ) 訪問による同意確認

新規対象者	再訪問数	回答数	同意件数	不同意件数
773人	588件	126件	97件	29件

◇機能② 孤立世帯等への専門的対応

- ・セルフネグレクト等の困難事例への専門的な支援
- ・ライフライン事業者等からの通報への対応

ア) 相談件数

訪問 (個別)	訪問 (個別訪問以外)	電話	来所	手紙・メール・FAX	その他	合計
1,043件	213件	4,992件	555件	276件	591件	7,670件

イ) 相談実人員

相談実人数	男	女	不明
836人	394人	434人	8人

ウ) 年齢 (内訳)

0-6歳	7-17歳	18-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳-	不明
0人	2人	22人	109人	115人	526人	62人

エ) 属性 (内訳)

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児	難病
384人	226人	94人	15人	35人	2人	8人
生活困窮者	子育て中の保護者	その他				
26人	4人	42人				

オ) 相談内容 (内訳)

相談内訳 合計	経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労
	1,607 件	853 件	844 件	140 件	15 件	60 件
10,635 件	いきがづくり	虐待	家族・家庭問題	見守り	ごみ屋敷	その他
	45 件	23 件	306 件	511 件	242 件	5,989 件

◇機能③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

・行方不明となった時に事前登録した本人情報を協力者にメール配信

ア) 協力者

	協力者 登録数 合計	協力者種別					
		本市事 業(高齢 者支援) を委託 してい る機関	介護保 険制度 関係団 体	医療関 係団体	地域関 係団体	民生委 員・児童 委員	その他
R5 年度累積登録数	6 件	0 件	0 件	3 件	0 件	1 件	2 件
R6 年 3 月末現在登録数	437 件	13 件	27 件	83 件	24 件	206 件	84 件

イ) 登録者

	期末登録 者	性別内訳		年齢内訳			
		男	女	65 歳 未満	65-70 歳	70-75 歳	75 歳 以上
R5 年度累積登録数	45 人	22 人	23 人	1 人	1 人	4 人	39 人
R6 年 3 月末現在登録数	245 人	86 人	159 人	4 人	6 人	21 人	223 人

	要介護認定情報							
	認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
R5年度累積登録数	9人	3人	2人	21人	4人	4人	2人	0人
R6年3月末現在登録数	34人	4人	2人	54人	27人	56人	29人	39人

	認知症高齢者日常生活自立度								
	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明
R5年度累積登録数	0人	0人	12人	21人	1人	1人	0人	0人	10人
R6年3月末現在登録数	1人	1人	24人	72人	67人	17人	7人	0人	56人

ウ) 行方不明時発生状況

配信依頼件数	区内	区外(市内)	区外(府下)	府外
4件	0件	2件	2件	0件

発見件数	発見内訳		未発見件数
	協力者による発見	その他による発見	
4件	0件	4件	0件

発見場所	区内	区外(市内)	区外(府下)	府外
	1件	3件	0件	0件

エ) 機能3 協力者連絡会の開催

事業名称	備考 (内容・延べ参加人数等)
見守りメール協力者連絡会 『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』	令和6年3月7日(木) 城東区民センター4階大会議室にて開催 ・認知症サポーター養成講座 ・見守り相談室及び機能3見守りメール事業の説明 ・見守り相談室による支援事例の紹介 参加人数延べ41人

(2) あんしんさぽーと事業 (日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の利用に不安のある方への「福祉サービス等利用援助」を対象に福祉サービスや預貯金の出し入れ、支払い手続きの代行「金銭管理サービス」、通帳、証書類を預かる「預かりサービス」を行った。

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計	相談援助件数
65人	42人	34人	0人	141人	9,544件

(3) 生活福祉資金貸付事業

相談者(低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、失業者世帯等)に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行った。他の部署(生活困窮者自立支援事業、城東区民児協、民生委員、福祉事務所等)とも連携を図り、相談者の必要な援助指導を行った。

ア) 貸付申込に関する相談 (件数)

	福祉資金	教育支援資金	緊急小口資金	不動産担保型生活資金 (要保護世帯を含む)
電話相談	549件	226件	75件	2件
窓口相談	180件	100件	57件	1件
申込書配布	19件	22件	6件	0件
決定件数	17件	18件	4件	0件
自立支援機関との連携	97件	9件	98件	3件

イ) 償還等の対応状況 (件数)

	福祉資金	教育支援資金	緊急小口資金	不動産担保型生活資金※
電話相談	30件	49件	0件	0件
窓口相談	2件	7件	0件	0件

※要保護世帯を含む

ウ) コロナ特例貸付償還猶予のフォローアップ支援

	緊急小口資金及び総合支援資金
電話相談	393件
窓口相談	179件
その他	218件
意見書作成 (償還猶予申請)	41件
意見書作成 (免除申請)	6件
自立相談支援機関への連携	3件
自立相談支援機関からの連携	0件

(4) 生活困窮者自立相談支援事業

生活保護の1つ手前のセーフティネットとして、様々な悩み、問題を抱える相談者に対し「断らない相談」を実施。相談に来られた方が少しでも早く安心・安定した生活を取戻せるよう、住居確保給付金や就労支援、家計改善支援事業等の制度に基づく支援と、他関係機関との連携を活用し、対応にあたった。

令和5年度については、新型コロナウイルスの影響から生活の立て直しができず困窮状態が続く生活相談やコロナ禍以前より困窮している方はさらに困窮している状況にあり個々の事情に応じて対応にあたった。

①相談受付件数

令和5年度	令和4年度
516件	736件

②プラン策定

	令和5年度	令和4年度
プラン策定件数	75件	90件
うち初回プラン	45件	57件
就労支援者数	30件	52件

住居確保給付金 決定者	5件	17件
就労訓練事業 利用者	0件	5件
就労準備支援事業 利用者	0件	0件
家計改善支援事業 利用者	5件	0件
不登校支援事業 利用者	9件	7件

③評価実施ケース数

	令和5年度	令和4年度
評価総数	80件	107件
終 結	47件	69件
再プラン	30件	37件

④支援会議（実施主体は区役所）

（支援同意のない生活困窮のおそれのある世帯への介入検討会議）

	令和5年度	令和4年度
全 体 会 議	0件	2件
個別ケース会議	0件	2件

⑤アウトリーチ（訪問支援）

	令和5年度	令和4年度
利用者訪問（庁外）	456件	426件
会議等への出席（庁外）	15件	16件

⑥その他実績について

	令和5年度	令和4年度
就労達成者	25件	37件
増収達成者	5件	9件

法律相談（新規）	27件	22件
----------	-----	-----

緊急食糧品等給付事業	2件	0件
フードバンク	0件	1件
その他備蓄食料支援	76件	53件

無料低額診療利用	2件	1件
----------	----	----

生活保護へのつなぎ	39件 (受給31件)	14件 (受給13件)
-----------	----------------	----------------

⑦関係機関との連携（情報共有、イベント等の開催）

- ・地域ケア会議（個別ケース及び振り返り会議）： 9件
- ・総合的な相談支援体制の仕組みづくり事業（通称つながる場）
個別ケース会議： 2件
- ・城陽地域でつながろう 地域ケアフォーラム
「アルコール依存を抱える方の支援について考える」
城陽地域包括支援センター、障がい基幹相談支援センター、保健福祉センターの共催
- ・イズミヤ出張相談開催（社協と董・鯉江包括共催）

（５）終活相談事業（ハッピーエンド）

本事業は、城東区在住の概ね65歳以上の高齢者を対象に、人生の締め括りの準備（葬儀・墓、遺言、相続、遺贈など）について幅広く相談を受け付けている。

週3日（月・水・金）の相談窓口を設置した他、大阪市介護予防教室「なにわ元気塾」での周知活動を行った。

①相談者性別

男性	女性	計
12人	25人	37人

②相談経路

電話	来所	その他	計
11人	26人	0人	37人

③年齢別

－59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	不明	合計
2人	0人	5人	8人	8人	9人	4人	0人	1人	37人

④相談の対象（※重複有）

自分自身	きょうだい	配偶者	親	子ども	計
29件	12件	8件	1件	5件	55件

⑤主な相談内容（※重複有）

身元引受人の不在	独居生活への不安	保証人引受への不安	遺言作成に関すること	財産分与・相続	配偶者死後の生活
2件	9件	3件	8件	7件	2件
財産管理	葬儀・墓	生前整理・家財処分(終活)	死後事務	死後全般・その他	合計
1件	13件	7件	8件	10件	70件

4 相談支援部門

(1) 地域包括支援センター運営事業

大阪市からの委託（受託期間～令和10年3月末）を受けて、保健師または、地域で活動経験のある看護師や社会福祉士、主任ケアマネジャーが協力し、高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らせるように、高齢者とその家族への相談支援に努めた。

介護予防事業への参加を必要とする方や、要支援状態の方に対するケアプラン作成、高齢者虐待など権利擁護を含む様々な相談、ケアマネジャーからの困難事例の相談に積極的に応じ、解決策を図るために地域や関係機関と連携し、支援体制の構築を図った。また、介護をされている家族のための介護教室等を開催した。

介護予防ケアプラン及び介護予防ケアマネジメント作成数	延べ 6, 416件	(うち、一部委託数 延べ6,400件)
自包括介護予防支援及び予防ケアマネジメント作成数	16件	
総合相談件数	延べ 8, 268件	訪問による相談延べ1,273件 電話による相談延べ5,741件 来所による相談延べ1,182件 その他による相談 延べ72件
地域ケア会議の開催	38回	個別17回、振り返り1回、自立支援型15回、見えてきた課題まとめ6回
総合相談窓口連絡会議の開催	12回	
地域密着型サービス運営推進会議への参加（書面含む）	15回	担当圏域内のグループホームやデイの運営推進会議への参加
ネットワーク構築のための会議開催、参加	111回	・包括周知・啓発のための講座 ・多職種、地域の会議への参加 ・各地区民生委員児童委員連絡会・医師会ネットワーク会議 等
城東区地域包括支援センター運営協議会への出席	3回	区役所保健福祉課が開催する運営協議会への出席
介護支援専門員個別相談件数	1, 396回	
居宅介護支援事業所連絡会の開催、参加	9回	ジョネットのオブザーバー参加
介護支援専門員への研修開催	2回	

①地域包括支援センター連絡会

会議回数	主な出席者	主な内容
12回	区保健福祉センター、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、鯉江ランチ、蒲生ランチ	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携について ・高齢者虐待事案について ・評価について ・運営協議会について ・区との連携について ・保健活動との連携について ・困難事例について

②認知症支援の多職種連携

会議回数	主な出席者	主な内容
17回	医師会、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、蒲生ランチ、鯉江ランチ、区保健福祉センター、在宅医療・介護連携支援相談室、認知症地域支援推進担当、生活支援コーディネーター	<p>認知症支援ネットワーク、認知症支援関係者会議として共催・参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議事例の共有 ・令和5年度認知症フェスタについて ・認知症対応力向上研修について ・認知症初期集中支援チームとの連携について ・認知症についての地域課題の検討

③住民に向けた介護予防・認知症予防・意思決定支援の取組み

ア) ゆうゆうはつらつ教室の開催

介護予防の普及、認知症の理解普及、高齢者の健康づくりや介護予防・認知症予防を目的にいくつかのセミナーを開催した。

開催日・会場	主な出席者	主な内容
①令和5年6月21日(水) ②令和5年7月19日(水) ③令和5年9月20日(水) ④令和5年10月19日(水) ⑤令和5年11月15日(水) ⑥令和5年12月20日(水) ⑦令和6年1月17日(水) 区在宅サービスセンター	一般住民 (延べ131名)	①夏バテ予防～手軽な食材を活用して夏を乗り切ろう～ ②100歳まで続けられる いつでもどこでも体操 ③健康診断・訪問看護について～血圧測定・血管年齢測定～ ④その靴、自分に合っていますか？ ⑤薬の管理できていますか？ ⑥知っていますか？人生会議 ⑦生活習慣病と運動

イ) 人生会議（意思決定支援）講演会の開催

開催日・会場	主な出席者	内 容
令和5年9月22日（金） 区民センター ホール	一般住民	「住み慣れた我が家住み慣れたこの町で自分らしく」 講師：池尻真康氏（医師会理事）

ウ) 成年後見制度講演会の開催

開催日・会場	主な出席者	内 容
令和6年1月27日（土） 区在宅サービスセンター	一般住民	「知っておきたい成年後見」 講師：大阪司法書士会 リーガルサポート大阪支部

④ 高齢者総合相談窓口(ブランチ)連絡会

開催回数	主な出席者・人数	内 容
12回	蒲生地域総合相談窓口、 鯉江地域総合相談窓口、 城東区地域包括支援センター 各回5人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務連絡、情報交換 ・ 今年度活動について ・ 活動方針、計画について ・ 支援事例の共有

⑤ 高齢者虐待防止に係る周知・啓発

ア) 区社協広報誌「ゆうゆう」（10月発行）に掲載

イ) 区役所保健福祉課が開催する高齢者・障がい者虐待防止連絡会にて、地域包括支援センター対応事例の報告を行った。

⑥ 城東区ネットワーク会議（参加）

開催回数	主な出席者・人数	内 容
6回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医師会訪看、野江訪看、在宅医療コーディネーター、在宅歯科コーディネーター、済生会野江病院、介護支援専門員協会、居宅介護支援事業者連絡会、リハビリテーション事業所連絡会、認知症初期集中支援チーム、区保健福祉センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、城東区地域包括支援センター 各回約30人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思決定支援、区民アンケートについて ・ 多職種研修会について ・ 区民講演会について ・ 各ワーキンググループからの経過報告 ・ 医療介護に関する意見交換

⑦ 介護者家族の集い(城東かぼちやの会)の後方支援

開催回数	主な出席者・人数	主な内容
12回	かぼちやの会会員、 デイサービス事業所、見守り相談 室、城東区地域包括支援センター 各回9～15人程度の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・介護状況報告 ・家族介護支援事業の案内 ・情報提供 ・その他連絡事項

⑧ その他

ア) キャラバンメイト連絡会 (参加)

開催回数	主な出席者・人数	主な内容
12回	キャラバンメイト、城東区包括 支援センター、城東・放出包括 支援センター、城陽包括支援セ ンター、董・鯉江東包括支援セ ンター、認知症地域支援推進員 各回約10人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各分科会（広報班、体制 づくり班、フォローアップ 班）に分かれての話し合い ・認知症サポーター養成講 座の開催について

イ) 地域包括支援センター・総合相談窓口(ブランチ)の周知啓発及び認知症の
理解・認知症予防普及啓発等

令和5年度も引き続き「地域包括支援センターだより」を年3回発行し、聖
賢地域、成育地域、榎並地域、鯉江地域の4連合の町会班回覧を活用し、周知
活動や認知症の啓発記事にて相談窓口の周知を図った。

ウ) 医療・介護・福祉の連携のための研修会

開催日	主な出席者	内 容
令和5年8月22日(火) 区在宅サービスセンター	医療・介護・福祉 関係従事者	「相談援助職のためのストレスマネ ジメント」 講師：近藤昭一氏 (LWA 株式会社)
令和5年10月20日(金) 区在宅サービスセンター	介護支援専門員	「自立支援型ケアプランのコツ」 講師：安井学氏 (社会医療法人大道会)
令和6年3月21日(金) 区役所1階会議室	民生委員、医療・ 介護・福祉関係従 事者等	多職種研修会 「がんばらない認知症支援」 講師：加藤巧氏 (社会医療法人大道会)

エ) 認知症フェスタの開催

開催日	主な出席者・人数	内容
令和5年11月16日(木) 城東区民センター	一般住人、ジョネット、福祉用具事業者、鯉江ブランチ、蒲生ブランチ、認知症初期集中支援チーム、区内4地域包括支援センター	テーマ「認知症世界の歩き方」認知症の人が体験する世界を実際に体感してもらい、認知症理解を深めるイベントを開催。

(2) 家族介護支援教室

ア) 介護家族者向けにリーフレットを作成

介護している家族が一人で抱え込まないように、家族が抱える課題に応じた相談窓口を紹介するリーフレットを作成し、ホームページ、圏域内の会館、医療機関等に配架した。

イ) 講演会・交流会の開催

開催日	主な参加者	内容
①令和5年6月24日(土) 場所：成育北集会所	一般住民	「終活への備え～もしもの時の人生のしまい方講座～」 講師：佐野正博氏 (区社協終活相談担当相談員)
②令和5年7月7日(金) 場所：区在宅サービスセンター		

城東かぼちゃの会の会員から、会の周知を呼びかけた。

(3) 認知症強化型地域包括支援センター事業

認知症やその家族が、地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症強化型地域包括支援センターでは、「認知症初期集中支援チーム」、「認知症地域支援推進員」、「認知症地域支援コーディネーター」を配置し活動を行った。

①認知症強化型地域包括支援センター

ア) 城東区包括支援センター運営協議会

会議回数	主な出席者	主な内容
3回	区地域包括支援センター運遺影協議会委員、区保健福祉センター、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、鯉江地域総合相談窓口、蒲生地域総合相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・区の認知症に関する地域課題の検討・共有と取組みについて ・認知症初期集中支援推進事業について ・オレンジサポーター地域活動促進事業について

イ) 認知症初期集中支援推進事業にかかる関係者会議

開催回数	主な出席者・人数	内 容
2回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医師会訪看、野江訪看、在宅医療コーディネーター、在宅歯科コーディネーター、済生会野江病院、介護支援専門員協会、居宅介護支援事業者連絡会、リハビリテーション事業所連絡会、認知症初期集中支援チーム、区保健福祉センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、城東区地域包括支援センター 各回約 30 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症総合事業の進捗状況の報告 ・ 認知症支援を行う中での課題や医療・多職種連携における課題やアプローチ方法を検討する ・ オレンジサポーター地域活動促進事業の活動報告 ・ 認知症地域支援推進員の活動報告

ウ) 認知症支援ネットワーク会議

会議回数	主な出席者	主な内容
4回	医師会、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、蒲生地域総合相談窓口、鯉江地域総合相談窓口、区保健福祉センター、在宅医療・介護連携支援相談室、認知症地域支援推進担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各包括が認知症支援においてうまくいった事例を検討 ・ 認知症フェスタについて ・ 認知症地域支援推進員報告 ・ 認知症についての地域課題の検討

エ) 認知症啓発映画会の開催

開催日	主な参加者	内 容
令和5年9月22日(金) 区民センター ホール	一般住民 218人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意思決定支援について ・ 映画「ぼけますからよろしくお願ひします。お帰りおかあさん」上映

オ) 認知症フェスタについて

開催日	主な参加者	内容
令和5年11月16日(木) 区民センター ホール	一般住民 86人	認知症の方の世界観を体験的学習して頂き、理解を深めて頂く取組みを行った。

②認知症初期集中支援推進事業

適切な医療や介護サービス等に結びついていない城東区内在住の認知症または認知症の疑いのある方を対象に、専門医と医療・福祉・介護の専門職で構成するチームがご本人や家族、民生委員、関係機関などから相談を受け、家庭訪問を行い、認知症に関する総合アセスメントを行った。そして、チーム員会議を開催し、一人ひとりに合った支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立した生活の支援を行った。

ア) 訪問支援対象者人数（令和5年4月～令和6年3月の合計）

男	女	合計
19人	31人	50人

イ) 支援状況

支援終了者	継続支援中	合計
44人	6人	50人

ウ) 対象者世帯類型別

配偶者と 子と同居	独居	夫婦 のみ	未婚の 子と同居	兄弟と 同居	子世帯 と同居	その他	合計
5人	19人	15人	6人	2人	1人	2人	50人

エ) 相談経路

地域包括支援センター・ブランチ （城東区、城東・放出、城陽、葦・鯉江東）	21人
家族	14人
医療機関	4人
城東区社会福祉協議会事業 （見守り相談室、介護予防事業、生活困窮者自立相談支援事業）	3人
区役所	3人
地域関係者	3人
本人	1人
ケアマネ	1人
合計	50人

オ) 介入時、介入後の医療・介護サービス利用状況（令和5年度支援終了者29人）

	医療・介護サービス利用	医療のみ	介護サービスのみ	医療・介護サービス両方なし	確認できず	支援中	合計
介入時	0人	19人	0人	10人	0人	0人	29人
介入後	6人	22人	0人	1人	0人	0人	29人

カ) チーム員会議 開催回数 12回

キ) 広報・普及啓発活動

地域で潜在している対象者の把握と、出来る限り早期の段階でチームにつなげることができるように、関係機関に事業への協力依頼やちらしの配架、高齢者や地域住民の集まる場所等に出向きチームの役割や機能について周知、広報活動を行った。

ク) 認知症地域支援推進員活動状況

若年性認知症支援	5人
若年性認知症相談 延べ件数	20件
認知症の支援困難症例の主たる支援機関からの相談	34人
認知症カフェの側面的支援（城東区認知症カフェ11カ所）	随時
他の地域包括支援センターや、区内の事業所・施設等への、認知症対応力向上のための支援	適宜

③オレンジサポーター地域活動促進事業

認知症の人が安心して暮らし続ける地域づくりを進めるため、認知症の人やその家族を中心に、オレンジサポーター（認知症サポーターのうちステップアップ研修を受講した方）で構成される「ちーむオレンジサポーター」への支援を行った。また、認知症の人にやさしいまちづくりの活動に取り組んでいただける企業・団体（オレンジパートナー）の周知・募集や取りまとめも行った。

ちーむオレンジサポーター登録件数	3チーム（合計13チーム）
オレンジサポーター	21名（合計33名）
オレンジパートナー登録件数	7団体（合計130団体）